



本日ご説明申し上げます資料に記載された今後の見通し、戦略などは現在での弊社の判断であり、
様々な要因の変化により、将来の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。

株式会社デジタルガレージ
第9期決算説明会

2004.08.27





Real & Cyber
Local & International
Marketing & Technology
Present & Future

を結ぶ

Context Company

として

インターネット時代における
新しい日本の
生活・社会・産業への
ビジネスソリューション提供

日本のインターネットビジネスを

IT/MT/FT の3つのコア機能を駆使し、プロデュース/インキュベート

1995

ISP

Portal

Media Rep

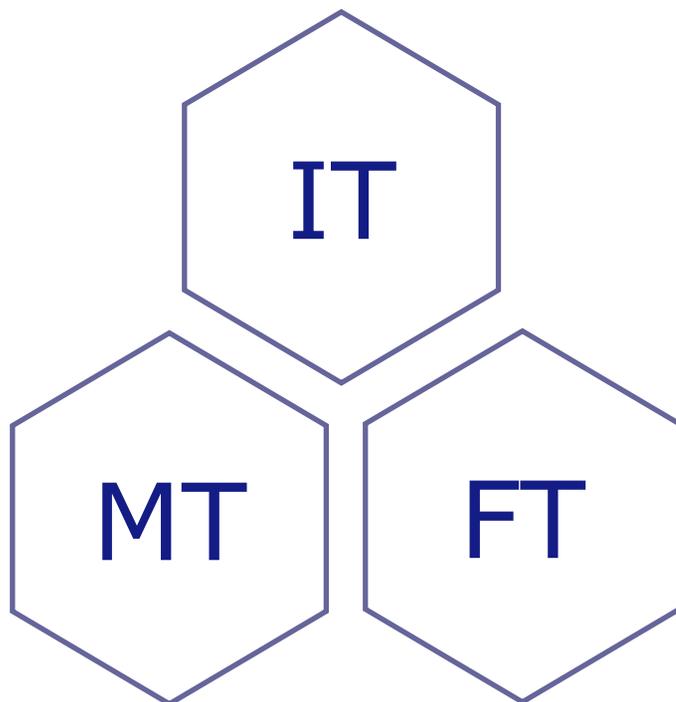
EC

CVS

BB

Mobile

2004



★ Information Technology

★ Marketing Technology

★ Financial Technology

<KEY CONCEPT>

FEDERATION MANAGEMENT

<DGグループ連邦経営>

『異なる企業体が独立して動くと同時に、

全体としても協調・共振する企業グループの形成』

<遠心力 ↔ 求心力>

- ◆ (株)カカクコムが東証マザーズへ上場 2003年10月
- ◆ マーケットメイク銘柄からオークション銘柄へ移行 2003年11月
- ◆ 1:5の株式分割を発表 2003年11月
- ◆ (株)DGモバイル設立 2004年 2月
- ◆ (株)インタースコープと資本・業務提携 2004年 4月
- ◆ (株)ジャストプランニングと資本・業務提携 2004年 4月
- ◆ ユーロ円建CBを35億円発行 2004年 5月
- ◆ (株)ビー・ユー・ジーと資本・業務提携 2004年 6月
- ◆ アイベックス・アンド・リムズ(株)と資本・業務提携 2004年 6月
- ◆ (株)イーコマース総研をインタースコープに売却 2004年 6月

JASDAQ
Listed Company 4819



(株) デジタルガレージ

VTC事業

ソリューション事業

ユビキタス事業

ポータル／ゲートウェイ事業

コンテンツ事業

アイベックス・アンド・リムズ(株)

マーケティング・プロモーション

* 連結子会社
(100%)

(株)クリエイティブガレージ

クリエイティブ制作

連結子会社
(100%)

(株)インタースコープ

インターネットリサーチ

持分法適用
関連会社
(32%)

(株)DGモバイル

3Gモバイル関連事業

連結子会社
(66%)

(株)ビー・ユー・ジー

ITシステム構築 等

持分法適用
関連会社
(21%)

デジタルネットワークアプライアンス(株)

TV端末向けBB STB型ソリューション

資本業務提携
(10%)

MOthers Listed Company 2371

(株)カカコム

価格比較サイト『価格.com』企画・運営

連結子会社
(40%)

(株)イーコンテクト

コンビニ決済・物流プラットフォーム事業

連結子会社
(53%)

JASDAQ Listed Company 4287

(株)ジャストプランニング

流通サービス業界向けASP事業

資本業務提携
(17%)

(株)アルク

語学教育出版事業

持分法適用
関連会社
(20%)

(株)イメージクエストインタラクティブ

着うた事業／チケット／コンテンツ開発

資本業務提携
(19%)

*アイベックス・アンド・リムズ社は2004年6月30日現在では39%の持分法適用関連会社となります(DGの2004年9月定時株主総会にて、株式交換により完全子会社となる予定です)



＜中期全体戦略＞

グループ連邦経営の中期計画達成＜第8・9・10期＞

対ソリューション事業

マーケティングソリューションの大型強化施策を実施／アイベックスアンドリムズの100%子会社化
広告プロモーション大手Ibexとの包括提携／インターネットリサーチ大手インタースコープとの提携

対ポータル/ゲートウェイ事業

公開したカカクコムに続いて、イーコンテクストの黒字化とジャストプランニングとの事業提携
カカクコムは順調に推移／ジャストプランニングへの資本参加／イーコンテクストの黒字化と資本強化

対ユビキタス事業

戦略事業である3G・4Gモバイル事業への参入(DGモバイル設立)とBUG社との資本業務提携
戦略子会社DGモバイルの設立と新コンテンツサービスの開始／BUGへの資本参加21%

対コンテンツ事業

wired(有線)&wireless(無線)両ウイングでのリッチコンテンツ事業の足場づくり
アルク等へのユニークなコンテンツ会社への資本業務提携/グローバル・コンテンツファンドへの参加

I 第9期の財務ハイライト



第9期連結損益計算書

(単位:百万円)

	2002年6月期	2003年6月期	2004年6月期	前期比(増加率)
売上高	2,783	3,520	6,217	2,697 (76%増)
売上総利益	1,357	1,420	1,741	320 (22%増)
(売上高総利益率)	(48%)	(40%)	(28%)	
販売管理費	1,357	1,705	2,060	355 (20%増)
営業利益	0	△ 285	△ 319	△ 34 (-)
経常利益	351	△ 202	△ 210	△ 7 (-)
当期利益	103	△ 217	380	598 (-)

第9期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2002年6月	2003年6月	2004年6月	前期比(増加率)	
流動資産	2,183	4,311	8,114	3,803	88%増
固定資産	1,857	2,436	6,356	3,920	160%増
繰延資産	-	-	270	270	-
総資産	4,040	6,747	14,742	7,994	118%増
投資有価証券 関係会社株式	1,615	2,586	6,095	3,509	135%増
流動負債	1,108	3,613	6,469	2,856	79%増
固定負債	1,315	467	4,696	4,229	905%増
少数株主持分	182	317	943	626	197%増
株主資本	2,543	2,350	2,633	283	12%増
(借入金+社債)	650	1,366	4,624	3,258	238%増

*DG単体

*CBその他

*DG単体

❖ 第9期の財務ハイライト

◆ DGの営業基盤の再構築と連邦経営の成果により売上高76%増

売上高
6,217百万円
76%増

◆ DG	4,238百万円 (62%増)
◆ カカコム	1,256百万円 (108%増)
◆ イーコンテクト	546百万円 (220%増)

- 営業基盤の再構築の成功
大型案件から中型案件への切り替え
営業先数の拡大による営業基盤の安定
- 連邦経営の成果による競争力強化

◆ 営業方針の変更や新規事業への先行投資等がかさみ前年並の赤字となった

経常利益
△210百万円

2期連続の
マイナス

- VTC事業推進等にともなう販管費の増加 (355百万円)
- 研究開発費 (132百万円)
(3G&4Gモバイル技術情報確保の先行投資)
- 暖簾代償却やCBコスト等 (555百万円)

◆ VTC事業の成果として過去最高の最終利益／当期純利益380百万円

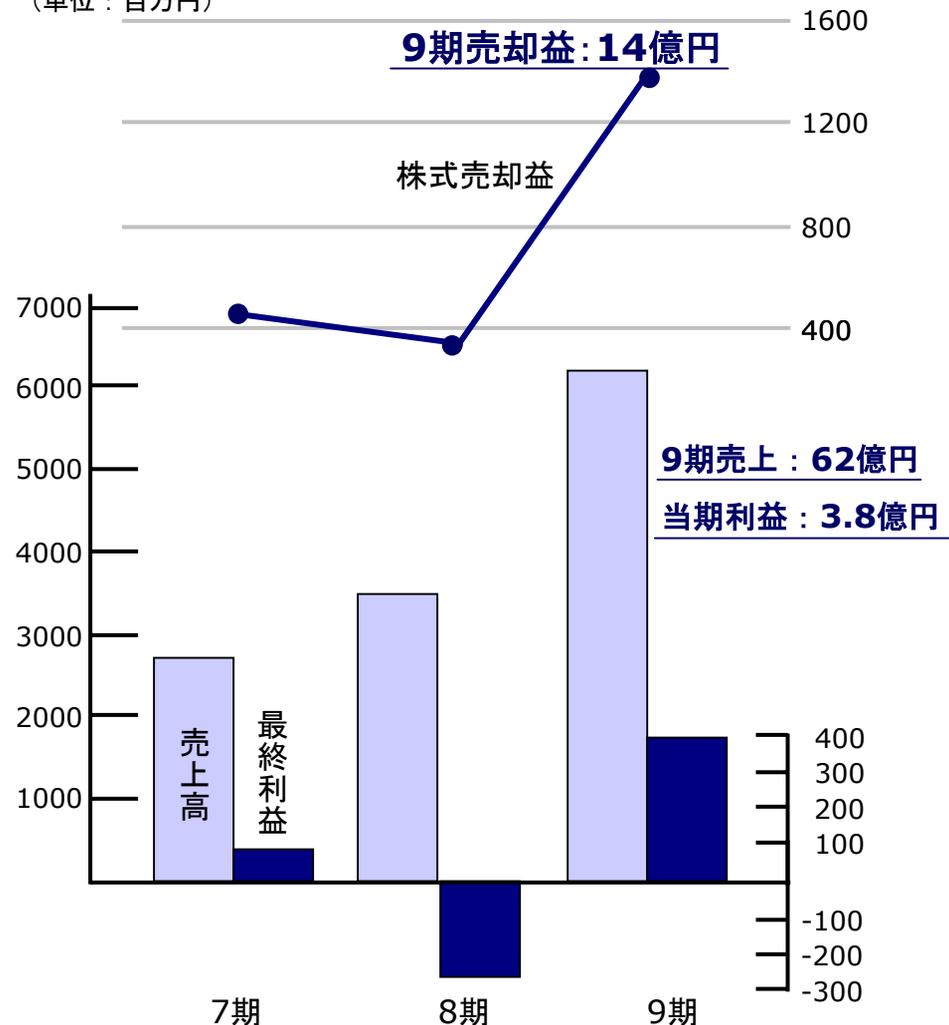
最終利益
380百万円

■ VTC事業の成果 1,806百万円 (前年比3.1倍)

- ・ 投資有価証券売却益 455百万円
- ・ 関係会社株式売却益 1,027百万円
(eコマース総研 150百万円 / カカコム 722百万円 / その他 153百万円)
- ・ 持分変動利益 323百万円
(カカコム上場 274百万円 / イーコンテクト第三者割当増資 45百万円)

連結業績とVTC(投資育成)事業の推移

(単位：百万円)



- ◆ 連結売上高**76%増** 62億円を達成
- ◆ 株式売却益も過去最高の**14億円**
- ◆ 当期利益も過去最高の**3.8億円**を達成

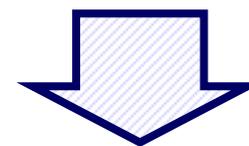


【営業基盤の再構築による売上高の拡大】

- ◆ MKソリューション(広告業務)の拡大

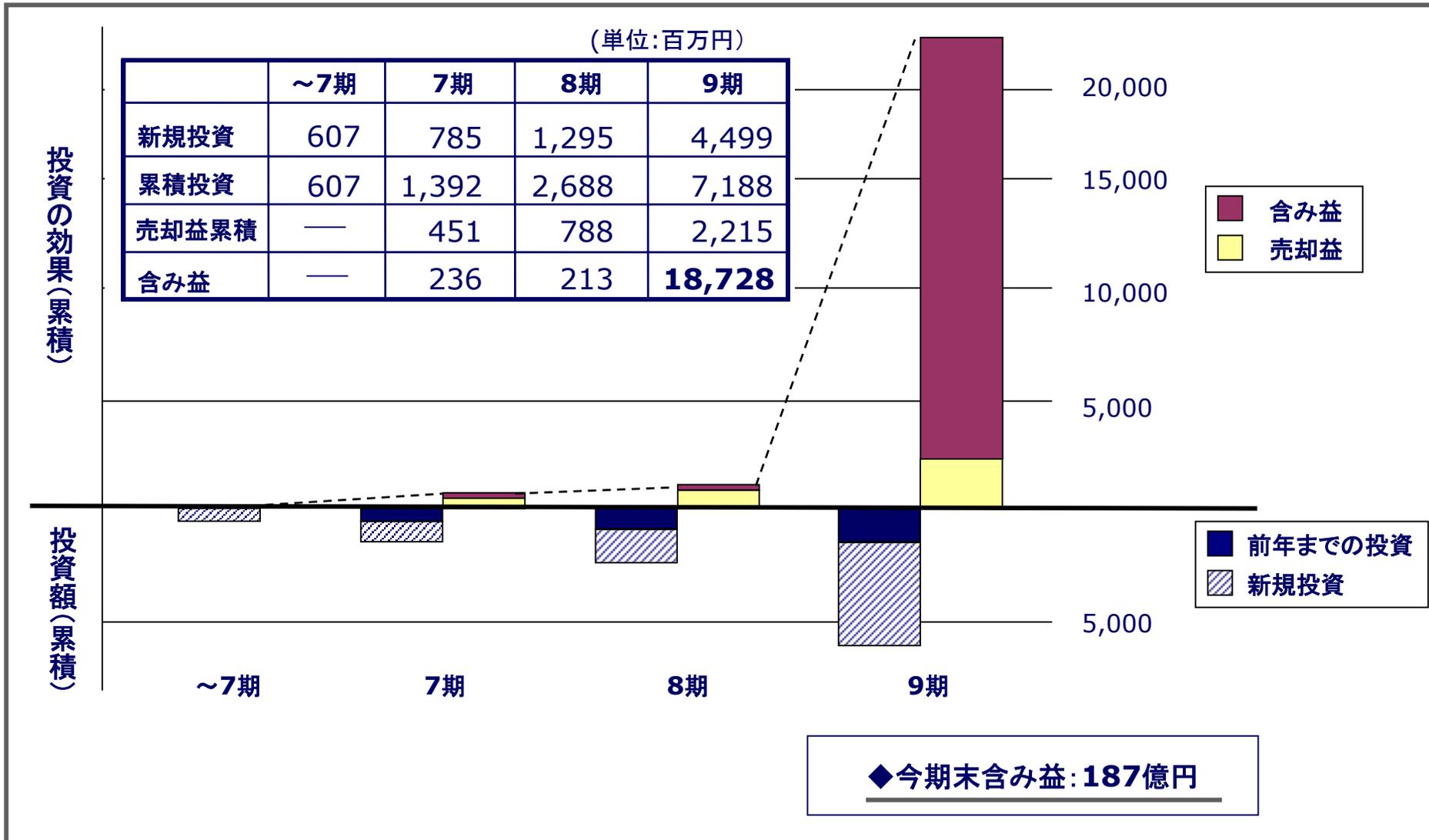
【VTC事業3カ年計画の完成の年:10期へ】

- ◆ BS型経営の回収期(リターン)の始まり



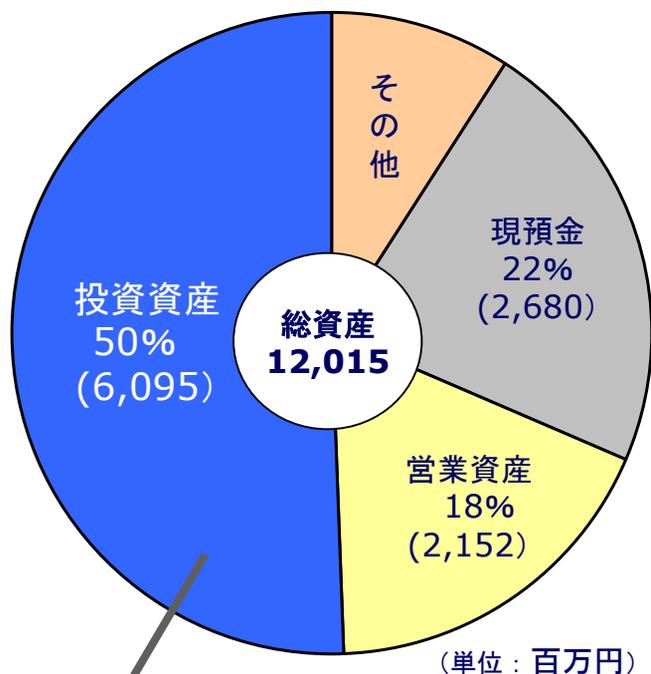
グループ経営とVTC(投資育成)事業の
共存共栄のフェーズへ

VTC(投資育成)事業成果の推移



当社資産の中での投資の内訳と推移

DG単体でのB/S資産内訳



- ◆ VTC事業の成果による投資資産60億円への拡大
- ◆ 過去3期において投資資産は継続的に増加
- ◆ 投資資産は子会社、関連会社など17社への出資等で構成
- ◆ 9期末において累積投資残高を累積投資益が上回りました

	7期以前	7期	8期	9期
前年までの投資	607	607	1,392	2,687
新規投資	0	785	1,295	4,499
累計	607	1,392	2,687	7,186
売却益(累積)	0	451	788	2,215
含み益	0	236	213	18,728
計	0	687	1,001	20,943

連結子会社	4社
持分法適用関連会社	5社
資本業務提携	8社

❖ セグメント別の動向とまとめ

(単位:百万円)

	区分	項目	2003年6月	2004年6月	対前期比
ソリューション事業	連結	売上高	2,711	4,430	163%
		売上総利益	792	456	58%
ポータル/ゲートウェイ事業 (旧プラットフォーム事業)	連結	売上高	808	1,786	221%
		売上総利益	627	1,284	205%

	含み益総計	投資残高計	投資会社数計
VTC(投資育成)事業	18,728	6,377	17社

◆既に売却済の投資

約**29**億円回収金額 (当初の投資金額 約**6.9**億円)

◆既に上場し含み益となっている投資

約**187.2**億円の含み益 (当初の投資金額 約**25.8**億円)

◆その他、現在未上場の投資

約**38.8**億円 **14**社

Ⅱ ソリューション事業

- ◆ アイベックス・アンド・リムズ(株) 連結子会社 DG出資比率100%
- ◆ (株)クリエイティブガレージ 連結子会社 DG出資比率100%
- ◆ (株)インタースコープ 持分法適用関連会社 DG出資比率32%

JASDAQ
Listed Company 4819



(株) デジタルガレージ

ソリューション事業

ポータル／ゲートウェイ事業

ユビキタス事業

コンテンツ事業

VTC事業

アイベックス・アンド・リムズ(株)

マーケティング・プロモーション

連結子会社
(100%)

(株) クリエイティブガレージ

クリエイティブ制作

連結子会社
(100%)

(株) インタースコープ

インターネットリサーチ

持分法適用
関連会社
(32%)

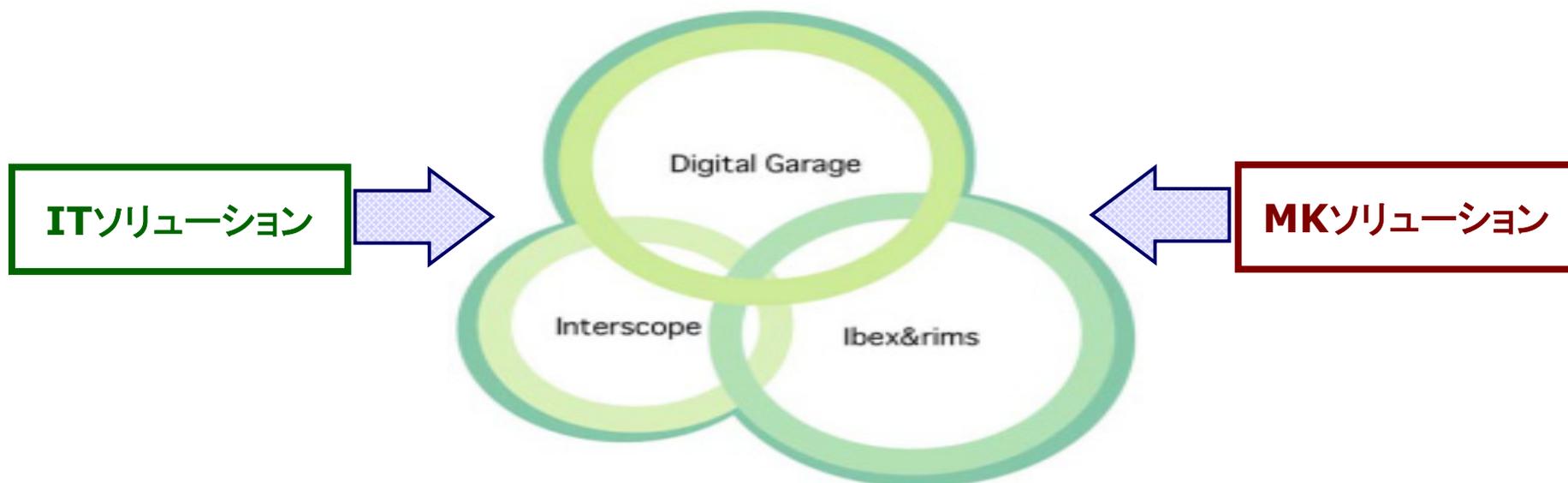
＜事業セグメントのサマリー＞

主にマーケティングソリューション事業領域強化のために…

- a) インターネットリサーチ大手インタースコープへの筆頭株主としての出資・提携
- b) 広告プロモーション大手アイベックス&リムズの100%子会社化と提携



IT × **MK** ソリューションの融合



コンテキストカンパニーとして、ソリューション文脈の“高度化” “総合力強化”

— 第22期を迎える広告プロモーション大手企業 —

■ アイベックス・アンド・リムズ株式会社

<http://www.ibexrims.com/ja/>
 資本金: 101,000千円
 DG出資比率: 100% (連結子会社)

但し、DGの2004年9月定時株主総会にて、
 株式交換により完全子会社となる予定です

業績予想			
	売上高	経常利益	当期利益
2005/6 22期	4,800	420	420

(単位: 百万円)

* 今期より決算期をDGと同じく6月に変更

■ サービス概要

- ◆ マーケティング & クリエイティブ
- ◆ プロモーションデザイン
- ◆ SPプロダクト開発
- ◆ イベント・プロモーション映像
- ◆ デジタル・プロモーション



Marketing Technology

—インターネットリサーチ大手企業—

■ 株式会社インタースコープ

<http://www.interscope.co.jp>

資本金：488,425千円

DG出資比率：32% (持分法適用関連会社)

■ サービス概要

- ◆ インターネットリサーチの企画・設計・実査・集計・解析
- ◆ インターネットリサーチASP (Quick Scope) の提供
- ◆ 従来型リサーチの企画・設計・実査・集計・解析
- ◆ 分析レポートの作成
- ◆ テキストマイニング：(自由記述回答) の頻度・意味分析
- ◆ データマイニング：(購買および閲覧履歴など結果情報) の分析
- ◆ マーケティング戦略立案コンサルティング



直近の実績

	売上高	経常利益	当期利益
2004/6 6期	736	40	20

*7期よりP/L連結を開始

(単位：百万円)

Ⅲ ポータル／ゲートウェイ事業 (プラットフォーム事業)

- ◆ (株)イーコンテクト 連結子会社 DG出資比率53%
- ◆ (株)カカクコム  連結子会社 DG出資比率40%
- ◆ (株)ジャストプランニング  戦略出資 DG出資比率17%

JASDAQ
Listed Company 4819



連結子会社
(40%)



価格比較サイト『価格.com』企画・運営

連結子会社
(53%)



コンビニ決済・物流プラットフォーム事業

資本業務提携
(17%)



流通サービス業界向けASP事業

＜事業セグメントのサマリー＞

- a) カカクコムは昨年**10月**の株式公開後も順調な事業進捗
- b) イーコンテクストの黒字基調と大幅な事業伸長
- c) ジャストプランニングへの戦略出資と外食**ASP**事業での協業準備



3社ともに高収益体質のポータル／ゲートウェイ事業として活動



グループシナジーの川上事業＝カカクコム(トラフィック)
グループシナジーの川下事業＝イーコンテクスト(決済・物流)
での新規事業創造

－ECの決済・物流ゲートウェイ事業－

■ 株式会社イーコンテクト

<http://www.econ.ne.jp>

資本金：458,290千円

DG出資比率：53%（連結子会社）

■ 事業概況

◆ ECマーケットの成長に歩調を併せた、
大幅な事業伸長と黒字転換

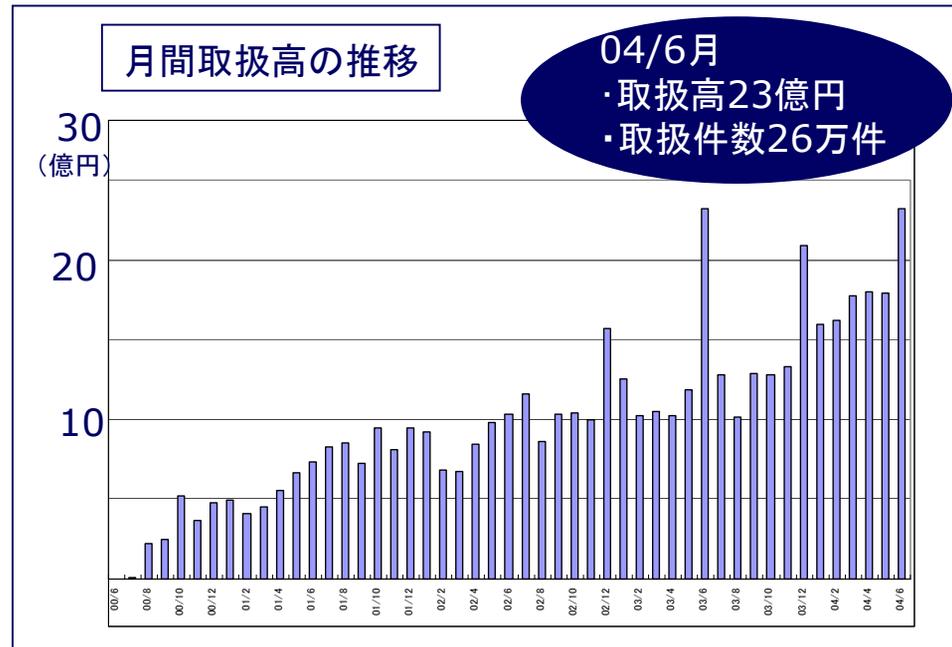
◆ サービス

『econtextゲートウェイ』(03/10月)

コンビニ払い・ネットバンク・クレジットカード・払込票
・銀行振込・口座引落し・コンビニ受取・宅配など
10種類の決済/物流を一元管理できるサービス。

『ローソンお買物券』(04/2月)

各種ポイントを、全国7,600店のローソンで使える
「お買物券」に交換できるサービス。各種プロモーションやアンケート謝礼などの用途でも利用可能。



直近の実績と予想

	売上高	経常利益	当期利益
2004/6 5期	546	△119	△122
今期予想	1,000	200	200

(単位：百万円)

—国内最大級の価格比較サイト／公開企業—

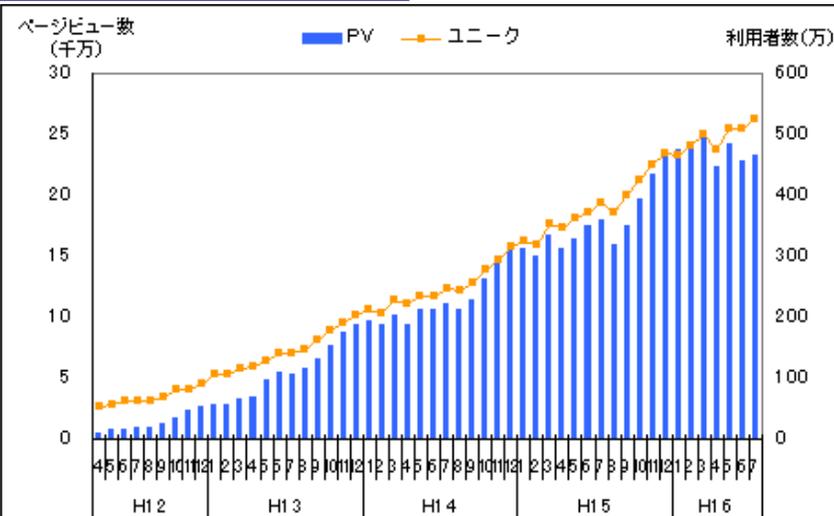
株式会社カカコム

価格比較サイト『価格.com』の運営
<http://kakaku.com>
 資本金：408,250千円
 DG出資比率：40%（連結子会社）

事業概況

- ◆ 2003年10月9日 東証マザーズに上場（証券コード2371）
- ◆ 月間アクセス数は利用者526万人、ページビューは2億2千万を超える（04/7現在）
- ◆ 宿泊予約サイト『yoyaQ.com』の買収
- ◆ '05年3月期 第1四半期も順調に進捗 経常利益と純利益とも対前年度比約2倍の成長を実現

月間アクセス数の推移



※6月度PV数の減少は、ユーザー利便性向上の一環として、目的コンテンツ到達までのページ数軽減を行ったため。

業績の推移

	売上高	経常利益	当期利益
2004/3 7期	1,256	474	274
2003/3 6期	603	220	127
2002/3 5期	257	102	53

(単位：百万円)



— 外食産業を中心としたASP事業／公開企業 —

■ 株式会社ジャストプランニング

<http://www.justweb.co.jp/>

資本金： 369,808千円

DG出資比率：17%（資本業務提携）

商品ラインナップ

まかせてネット／配席・空席管理ジャストヒット
／Lモード対応まかせてリザーブ

■ 事業概況

主力商品「まかせてネット」を基盤に外食産業を中心に事業を展開中。今後は、他産業への進出を視野

◆システム運用に関するデータメンテナンス等の付随業務を代行

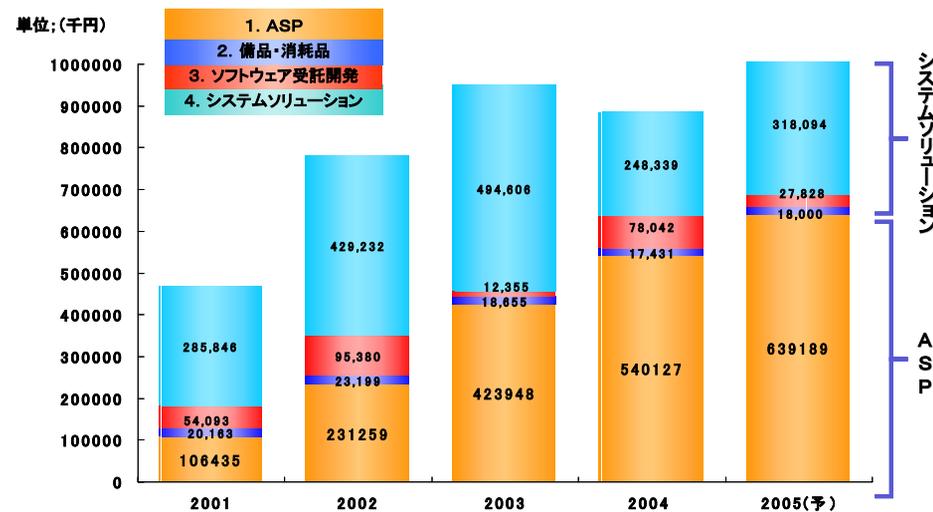
◆アプリケーションソフトウェア、分析帳票のカスタマイズ無償対応

◆外食業界の営業時間に沿ったサポート体制

◆カカコムが買収したyoyaQ.comと連動した事業化を検討中



事業別売上高推移と構成比率推移



その他トピックス

■ まかせてリザーブ ニューロンと資本業務提携

■ レストランチェーン ふらんす亭に資本出資

IV

ユビキタス事業

◆ (株)DGモバイル

連結子会社 DG出資比率66%

◆ (株)ビー・ユー・ジー

持分法適用関連会社 DG出資比率21%

◆ デジタルネットワークアプライアンス(株)

戦略出資 DG出資比率10%



JASDAQ
Listed Company 4819



(株) デジタルガレージ

ソリューション事業

ポータル／ゲートウェイ事業

ユビキタス事業

コンテンツ事業

VTC事業

(株) DGモバイル

3Gモバイル関連事業

連結子会社
(66%)

(株) ビー・ユー・ジー

ITシステム構築 等

持分法適用
関連会社
(21%)

デジタルネットワークアプライアンス(株)

TV端末向けBB STB型ソリューション

資本業務提携
(10%)

＜事業セグメントのサマリー＞

戦略子会社**DGモバイル**での第**3世代(3G)**携帯電話向け各種サービスの開始

- a) マンガコンテンツの配信を**8/19**より開始(デジタルマンガ協会との提携)
- b) **3G**モバイル向け「制作委員会方式」のサービス開始(**10月**開始予定)
- c) 札幌の有力ベンチャー**BUG**との資本・業務提携



インターネットコンテンツ領域での実績を3Gモバイルの領域へと拡大

技術力

×

コンテンツ力

×

プロデュース力

—3G・4Gモバイル・ビジネスプロフェッショナル—

株式会社DGモバイル

3G携帯電話を主としたモバイル端末向け
コンテンツ関連事業、コマース関連事業、
広告関連事業、海外事業

<http://www.dgmobile.co.jp/>

資本金: 152,500千円

DG出資比率: 66% (連結子会社)

事業概況

2004年2月3日 設立

◆「モバイル・コミック」向けコンテンツアグリゲーションを開始

・5/18 小学館グループの(株)ウェブプロGRESSと
戦略的提携

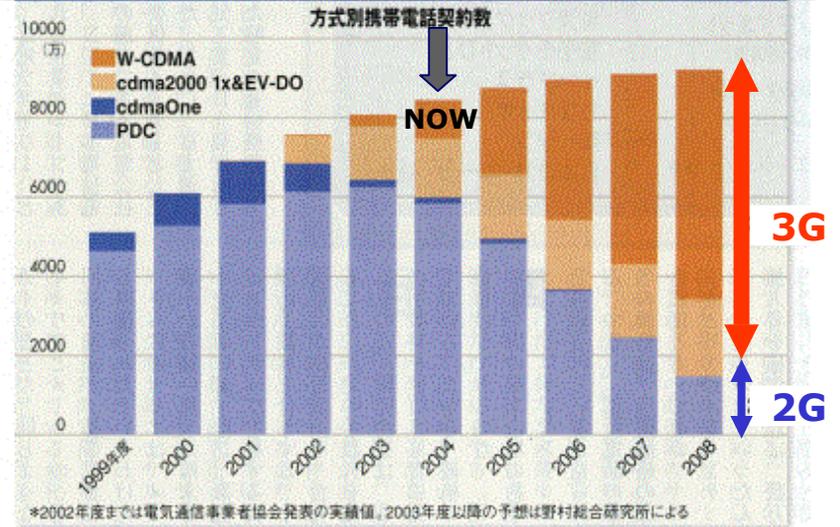
・8/19 デジタルマンガ協会(会長モンキーパンチ)と
戦略的提携

◆DGモバイルが技術・コンテンツ支援するEzweb公式サイト
「マンガ市場ドットコム」がオープン(8月)

◆デジタルプロモーション運営の(株)DiCEと事業統合に
合意(6月)

◆本格事業展開のため既存株主を中心に第三者割当増資を
実施(8月)

市場は急速に第3世代に置き換わる



8月サイトオープン



10月～サイトオープン



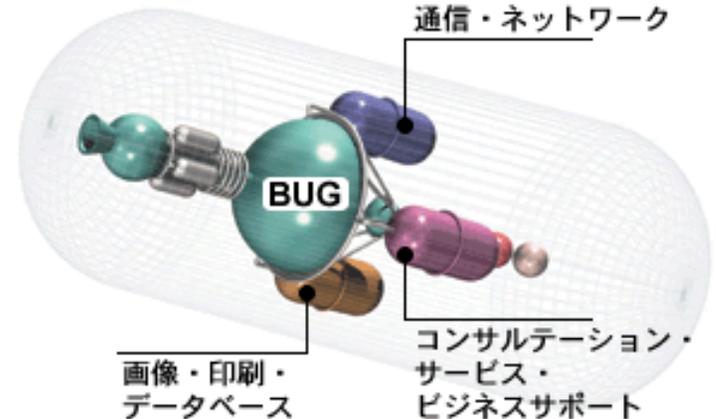
一札幌発の有力ITベンチャー企業一

株式会社ビーユージー

コンピュータシステム、ハードウェア、ソフトウェアの企画・設計・開発・製造・販売
 資本金：165,000千円
 DG出資比率：21% (持分法適用関連会社)

事業分野

- ◆ ハードウェア設計・開発
 - ASIC設計
 - 各種ドライバ開発
 - TCP/IPプロトコルスタック開発
 - データベース応用システム開発
 - 特定業務ソフトウェア開発
 - アプリケーションソフトウェア開発
 - ECサイト開発
- ◆ システム構築
 - ホスティング
 - AIP (Application Infrastructure Provider)
 - web製作
 - マニュアル製作
 - サポート・コールセンター
 - イベント企画・運営
 - 広告、販促物企画・製作



ビー・ユー・ジーは、画像処理技術を核とした展開から、印刷・新聞などパブリッシングの世界、そしてそれらを伝達する通信ネットワークの世界、さらにその上を走るサービスの世界へと進化し続けています。

業績の予想

	売上高	経常利益	当期利益
2004/9 25期	1,720	137	81

(単位：百万円)

V

コンテンツ事業



＜事業セグメントのサマリー＞

a) 一部分割後、**2003年6月**にスタートした新会社(株)アルクは事業再編・効率化の効果を発揮。順調に**第1期**を終了

◆第1期	売上高	経常利益	利益
	6,928百万円	760百万円	379百万円

◆戦略パートナーとして
NTTレゾナント他に計**10%**の出資・業務提携(2004年6月)

b) “コンテンツファンド”への積極的コミット



BB新時代においてwired(有線)&wireless(無線)の双方で

活用可能なリッチコンテンツの開発プロジェクト

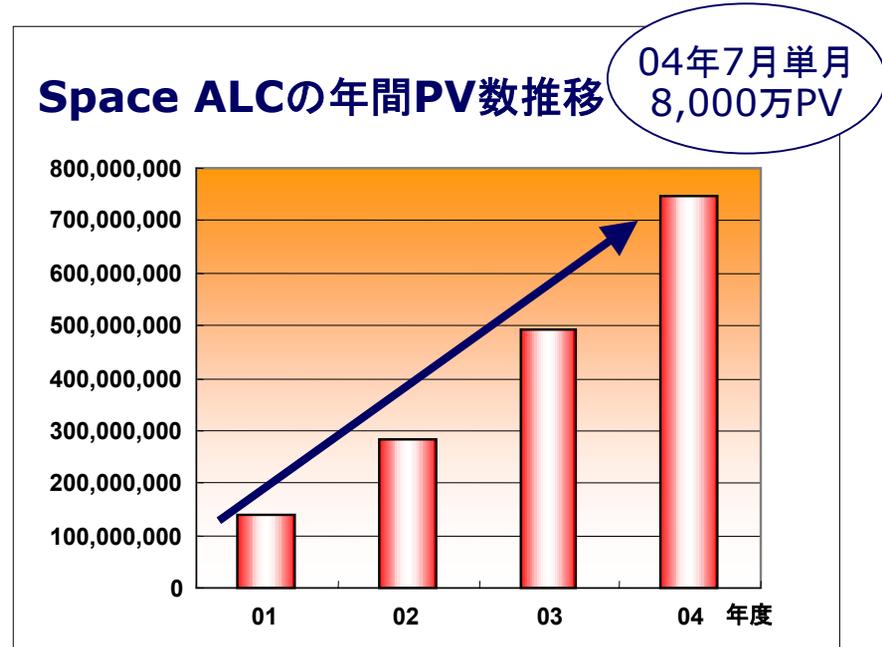
— 語学教育の大手コンテンツホルダー —

■ 株式会社アルク

<21世紀のデジタルネットワーク・パブリッシャー>
 英語を中心とした語学の通信教育・出版事業会社
<http://www.alc.co.jp/>
 資本金: 40,000千円
 DG出資比率: 20% (持分法適用関連会社)

■ 事業概況

- ◆ オンライン辞書「英辞郎」を中心とする、
 語学学習系No.1ポータルサイト「SPACE ALC」
 → 月間8,000万PV、今期よりHP運営の子会社を
 実質的に統合、アルクの本体事業として加速展開
- ◆ 大学向けe-LEARNING「ALCネットアカデミー」
 → 国立大学の6割に導入済のNo.1 e-LEARNING教材
 全国200校を超える大学への導入実績加速中
- ◆ 戦略パートナーとしてNTTレゾナント他に計10%の
 出資・業務提携(2004年5~6月)
 → DGを含めた企業群とのアライアンスによる
 インキュベーション体制の実現



直近の実績			
	売上高	経常利益	当期利益
2004/5 1期	6,928	760	379

(単位: 百万円)

Next Projectの開拓＝重点3事業分野について

＜今後マーケットとして大きな可能性のある3つの事業分野へのフォーカス＞

3G 4G-Mobile

- ◆ 携帯通信のBB化/パケット料金定額化による新たな事業環境による展開
- ◆ DGモバイルを中心として事業展開
例:コンテンツ提供によるCP事業

MMOG(大規模オンラインゲーム)

- ◆ 従来のパッケージゲームのオンライン化の流れ
(2006年 1,500億円市場に)
- ◆ オンラインゲーム市場そのものへの参入
(MMOG運営会社や製作会社への直接・間接投資)に加えて、
カカコム(顧客誘導)・イーコン(課金決済)でのビジネス機会の拡大

BLOG

- ◆ 「検索エンジンの次にくるもの」としての可能性
- ◆ BLOGの活用による、あらたなマーケティング活動の可能性
- ◆ 世界でトップクラスのBLOG技術会社との提携

❖ DGグループのビジネス戦略

1995 インターネット黎明期 2000 Eビジネス黎明期 2004 ビジネス=Eビジネス 2007

ナローバンド/PC
会社に1台・家庭に1台
商用インターネット
失われた10年
WEB

ブロードバンド/携帯
一人3台(会社・家庭・携帯)
ネット・ビジネス
デフレ経済
Eコマース

ブロードバンド/ネット家電
ユビキタス社会
オンデマンド・ビジネス
企業再生
アウトソーシング

創業期

単体経営

グループ連邦経営

▲
創業

▲
DG上場

▲
DAC上場

▲
カカクコム上場

△ △ △

Next Project

ユビキタス事業

コンテンツ事業

ポータル/ゲートウェイ事業

インキュベーション事業 → VTC事業

ソリューション事業